

2024年 4月 7日 《 誕 生 祝 福 式 》

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③夜7時

司 会

②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱

②石井 秀人兄

賛 美

聖歌480番「輝く日を仰ぐ時」

～注ぎたまえ主よ～

パウロの祈り①

聖書朗読

出エジプト記17章8～16節

特別賛美

大和カルバリー聖歌隊&アンサンブル

誕生祝福式

メッセージ

「モーセの手を支えたアロンとホル」

石井 潤 牧師

献 金

聖歌255番「イエスのもとに」

賛 美

～み手の中で～

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

賛 美

「喜びがある」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします!☆
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝致します。午後は聖書の学び会(ヘブル9書/白川兄)

★今週の祈り会： ①早天祈禱会 明朝6時、 ②祈禱会：木曜午前10時半、
夜7時半(大和祈禱会映像)。 ③準備祈禱会：土曜夜8時。

☆来週の日曜礼拝では聖餐式が行われます(司会：白川達男兄/祈禱：寺澤政枝姉)。

★一年に一回聖書を完読できる! Bible Reading Plan [4/7-14]☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	士師記 1-3	4-5	6-7	8-9	10-12	13-15	16-18	19-20
チェック	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇

「モーセを支えたアロンとホル」

～神への祈りと神のみことばによる勝利～

「モーセはその人となり柔和なこと、地上のすべての人にまさっていた。」〔口語訳〕

「モーセという人はこの地上のだれにもまさって謙遜であった。」〔新共同訳〕民数記12章3節

モーセという人物を民数記では地上の全てのの人に勝って「柔和」であり、「謙遜」な存在であると聖書は評価しています。

200万人の民を率いて、何もない荒野をさまようということは、どれほど多くの苦労があったことでしょう。その苦労の内容を、聖書は明らかに記しています。何度も何度も民たちは文句を言い続けています。しかし、その度に、神の前にひれ伏すようにして祈るモーセの姿に心が打たれます。だからこそ、地上のすべての人に勝って、「柔和」「謙遜」という称号を勝ち取ることができたのでしょう。

本日の聖書箇所は、200万人の民の命を脅かす、敵の存在に対して書かれています。200万人の民の中にも日々問題が起っていましたが、外部からも敵がやって来ました。民が一丸となって当らなければ、この敵に勝つことなどできなかつたでしょう。ヨシュアが率いる民とアマレクが戦いました。しかし、民がみんな戦ったのではなく、ヨシュアが人々を選んでいきます。この時点では、民は一丸となれない部分もあつたのかもしれませんが、何人選んだのかは分かりませんし、そこが問題ではなかつたのかもしれませんが。後に後継者として選ばれるヨシュアに対して神様は主の戦い方を学ばせたのかもしれませんが。

その勝利のカギは、軍隊の力ではなく、主への祈り(礼拝)、そして、民への祈り(とりなし)の祈りによって勝利したことをヨシュアに学ばせました。ヨシュアは実際に後にリーダーとなったとき、アイという町を攻め滅ぼすまで、投げやりを差し伸べた手を決して引っ込めませんでした(ヨシュア8:26)。これは、アマレクとの戦いの時にモーセが杖を掲げて祈り続けたことと同様でした。私たちが祈るということと、実際に戦うということの両輪は大切ですが、祈りがなければ、神の助けがなければ、私たちは決して信仰の戦いに勝利することはできないということです。

モーセには、アロンとホルという素晴らしい、祈りの支え手がありました。この二人も霊的な目が開かれていたということです。モーセの祈りの手が決して下がらないように支えることが絶対不可欠であると。モーセは200万人の群れのリーダーでした。私自身もこの教会の牧師として、謙遜で力強い祈りを捧げられる者とならなければいけないと感じています。しかし、本当に弱い者ですから、皆さんのお支えが必要です。信仰の岩であるイエス様を土台として、祈りの手を高く掲げて欲しいと願っています。今は、忍耐と祈りの時です。コロナ禍は過ぎつつありますが、教会自身の信仰の火が弱められていると感じています。主から新しい聖霊の油注ぎ、力を必要としています。どうか、覚えて祈り、支えてください！